



大銀杏

喜多市立慶徳小学校 学校だより
令和3年2月5日(金) 第37号
発行責任者 校長 石田 秀喜

【スローガン】 育てよう夢 伸ばそう個性 伝統を受け継ぐ慶徳の子



「3つのレンズ」

「^は這えば立て 立てば歩めの 親ごころ」-----

ようやくこうようになったわが子に喜ばば、つかまり立ちできたことに喜び、ヨチヨチ歩きができたと言っては喜ぶ。このような親ごころは今も昔も変わらないものだと思います。

「きのうよりは今日、今日よりはあした」、わが子が少しでも成長してほしいと願うのは親として当然の気持ちです。

その一方で、体だけでなく、心の成長もしている子どもたち。何を考えているかわからないと思うような年頃にもなっています。子どもを見ると、次のような「3つの目(レンズ)」を持つことも必要なのかもしれません。それによって、わが子の実像がよりはっきり見えてくるかもしれません。

- 【標準レンズ】 被写体にゆがみをもたせないで、わが子をありのままに見る目。
- 【望遠レンズ】 距離を置いて遠くから見守る目。必要に応じて、そばに引き寄せて見る目。
- 【広角レンズ】 わが子だけを見ないで、広い視野でいろいろな角度から見る目。

気持ちをひとつに 1・2・3・4... ~なわとびコンテスト(県教委)~

さすが6年生 県で 第2位に!!



福島県教育委員会主催の「Web なわとびコンテスト」に、今年も全学年でチャレンジしました。短なわとびと長なわとびの部門があり、本校では長なわとびの部門に参加しました。(参加校85校)

実施期間が1月31日(日)まででしたが、子どもたちは毎日昼休みなどを使って自主的に練習してきました。日を重ねるごとに回数も更新され、引っかかってしまった友達に「ドンマイ!」と声をかけながら楽しくも真剣に取り組んでいました。本年度の最終的な成績は以下のとおりです。低・中・高学年ごとの順位です。1・3・5学年の皆さんも、1つ上の学年の皆さんと合わせての順位の中、よく頑張りました。今回の体験を通して、順位だけでなく、一つのことにみんなの気持ちを合わせて取り組む素晴らしさを子どもたちは実感したようです。

1年	11位(155回)	3年	10位(280回)	5年	11位(331回)
2年	6位(192回)	4年	7位(303回)	6年	2位(449回)

豆まき集会を実施



124年ぶりの「2月2日節分」ではありましたが、一日遅れの3日に「豆まき集会」を実施しました。子どもたちからは、「ゲームやりすぎ鬼」「あまえんぼう鬼」「ねぼすけ鬼」「めんどうくさがり鬼」などの追い出したい鬼が挙げられ、年男・年女の5年生が、豆をまいて払ってくれました。体育館への移動前後の手洗い、手指消毒、大声を出さない、間隔をおくなどのコロナ感染予防をしながら実施しました。

週末も...雪による事故、コロナ・インフルエンザへの感染の予防を油断なく。